

令和5年度 部局経営目標

年度	令和5年度	作成日	令和5年4月1日
部局名	建設部	部局長名	頭山 龍一
(1) 部局の役割・使命(ミッション)・経営方針			
<p>1. 快適で持続可能な都市形成【No.11：住み続けられるまちづくりを】 多彩で循環のある地域の集合体として、活力やにぎわいを高める持続可能なまちづくりを進めます。 誰一人取り残さない共生社会の実現に向けたまちづくりを進めます。 地域の特性に合った、誰もが住みたい、住み続けたいと思う快適な住宅環境づくりを進めます。 景観や自然環境に配慮した誰もが暮らしやすいまちづくりを進めます。 都市づくりと連携した住環境整備及び産業関連インフラの充実を行うため、効率的で計画型の社会資本整備（公共交通、文化・スポーツ施設、教育施設、道路、上下水道、住宅等）を進めます。 建築物の木質化やユニバーサルデザインなどを取り入れたまちづくりの推進を行います。</p> <p>2. 国土調査事業の実施【No.11：住み続けられるまちづくりを】 社会資本整備の基盤である国土調査の真庭市全域の早期完了を目指します。</p> <p>3. 安全・安心なインフラ整備と維持管理【No.11：住み続けられるまちづくりを】 市道の維持管理方針に沿って良好な道路環境の整備を進めます。 中国横断自動車道岡山米子線の全線4車線化の早期完成を目指します。 橋梁・トンネル等道路重要構造物の長寿命化を図り、持続可能なまちづくりを進めます。 緊急車両の通行が困難な箇所や落石のおそれのある危険箇所を整備し、安全・安心な道路整備を進めます。 建築物の利便性の向上などを図った設計・営繕業務の推進を行います。</p> <p>4. 安全・安心で持続可能な上下水道事業の運営【No.6：安全な水とトイレを世界中に】【No.14：海の豊かさを守ろう】 上下水道事業の持続可能な経営の確保に向けて、公営企業としての経営体制の強化を進めます。 中長期的な視点に立った施設の改築・更新、老朽化した施設の更新統合等、ストックマネジメントによる維持管理費用の削減を強力に進め、効率的な運営管理を目指します。 また、課の統合による組織力の向上を図り、業務の一体化や類似業務の統合による経営コストの削減などによる持続可能な経営を目指します。</p> <p>5. 資源循環型社会の実現とエネルギーエコタウン真庭の推進【No.7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに】 建築物への省エネ機器等の導入を検討し、省エネルギー化及び温室効果ガス排出量の削減を推進します。</p> <p>6. 農林業施設の適正な維持管理【No.15：陸の豊かさを守ろう】 市内ため池の計画的な改修工事と、利用されていないため池の廃止を実施し、将来にわたって安心して住み続けることのできる地域づくりに取り組みます。 また、林道の通行の安全を確保するための修繕工事を実施し、原木取扱量の増量を図ることで林業振興に取り組みます。</p>			
(2) 事業成果目標			指標名及び目標値
<p>1-①公園整備 こどもからお年寄りまでの幅広い年齢層の自然とのふれあい、レクリエーション活動、健康運動、文化活動、地域間の交流・連携など多様な活動の拠点である緑とオープンスペースの憩いの場を整備していきます。 ①北町公園の整備－久世北町公園における公園施設の老朽化対策や防災公園としての多機能化などの課題について、市民等の意見を幅広く聴きながら、今後の公園のあるべき姿の検討を行い基本構想を策定し整備を進めていきます。 ②官民協働によるポケットパーク整備－民地・公共用地にとらわれず、地域団体等に場所も含め提案を募り、地域と一緒にどのような公園がよいかを話しながら、市民のニーズに応え、笑顔あふれる公園を整備していきます。 ③河川公園の整備－久世、勝山、湯原など都市計画区域内の河川公園等を市民の水辺の憩いの場として整備していきます。</p>			<p>指標：整備箇所数</p> <p>目標値：①久世地域1箇所、②市内2箇所、③市内3箇所</p> <p>(令和4年度実績値：北町公園あり方検討委員会3回開催)</p>

<p>1-②総合的な空家等対策の実施</p> <p>・令和2年度に策定した「真庭市空家等対策計画」に則り、また、空家等を把握・対応を検討する部局横断的な会議を適宜開催し、空家等の利活用によるUIターン者等の獲得や、老朽危険空家等への対策による地域住民の安全で安心な生活環境の確保等、他部署と連携した総合的な空家等対策を実施します。</p> <p>①特に都市住宅課では、老朽化した危険な空家を除却する際の補助金の交付や、所有者の意識の醸成、空家等対策の推進に関する特別措置法に基づく措置を行うなど、老朽危険空家等対策を行います。</p> <p>②早急に対応しなければならない危険な空き家の対応等可能にする条例等制度を整えていきます。</p>	<p>指標:老朽危険空家等の危険部分の除却件数</p> <p>目標値:28件</p> <p>(令和4年度実績値:25件)</p>
<p>1-③市営住宅の長寿命化改善事業の実施</p> <p>・真庭市営住宅整備計画(真庭市公営住宅等長寿命化計画)に基づいた市営住宅の長寿命化改善事業を実施し、住宅困窮者の住宅確保に配慮しつつ、市民の資産である市営住宅の有効活用とライフサイクルコストの縮減を図ります。なお、当該計画は令和3年度から令和12年度までの10箇年計画で、全50団地のうち17団地を長寿命化改善することとしています。</p> <p>・令和5年度は、市営旭住宅改善事業及び禾津住宅改善事業を実施します。</p> <p>・既存市営住宅について、若者定住者向け住宅への改修を検討します。</p>	<p>指標:ライフサイクルコストの縮減効果</p> <p>目標値:272千円</p> <p>(令和4年度実績値:242千円)</p>
<p>1-④市営住宅使用料の徴収</p> <p>・住宅使用料滞納者に対して、細やかな文書送付及び電話催告等に加え、弁護士と連携し即決和解等の法的措置を取り入れながら、徴収の成果を上げていきます。</p>	<p>指標:収納率</p> <p>目標値:100%</p> <p>(令和4年度実績値:95.0%)</p>
<p>1-⑤景観・自然環境と再生可能エネルギーの調和</p> <p>・真庭市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例に基づき、特色ある景観、豊かな自然環境等と太陽光発電に代表される再生可能エネルギーの調和を図っていきます。</p>	<p>指標:審査件数</p> <p>目標値:2件</p> <p>(令和4年度実績値:3件)</p>
<p>1-⑥ 第2次スクリーニング計画</p> <p>・第1次スクリーニングで抽出された市内16箇所の大規模盛土について、第2次スクリーニングを実施する優先度を判定し、それらの結果を宅地カルテ等にまとめ、第2次スクリーニング計画を策定します。今年度は、さらに8箇所について、第2次スクリーニング計画の簡易地盤調査を実施し、第2次スクリーニングの可否をすすめていきます。</p>	<p>指標:審査件数</p> <p>目標値:8箇所</p> <p>(令和4年度実績値:16箇所)</p>
<p>1-⑦建築営繕業務の一元化を図る</p> <p>真庭市有施設の新築や大規模改修工事など建築営繕業務の一元化により、利便性や品質の向上と業務の効率化を図ります。また、木質化やユニバーサルデザインなどを取り入れた設計・営繕業務の推進を行います。</p>	<p>指標:建築工事の実施率</p> <p>目標値:100%</p> <p>(令和4年度実績値:100%)</p>

<p>1-⑧職員の能力開発を進める</p> <p>職員が講習会等に参加することにより、地域資源の木材を活用した木造(CLT)建築技術やCO2削減に向けた先進技術等について知識を深め、建築物の利便性の向上と省エネルギー化の推進を図ります。</p>	<p>指標:講習会等の参加</p> <p>目標値:課職員 2回/人</p> <p>(令和4年度実績値:課職員 3回/人)</p>
<p>2-①国土調査事業の計画的推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 国土調査中の5地区の早期完了を目指し、補助金を最大限活用して、目標面積1.75km²を完全実施することにより進捗率の向上を図ります。 また、勝山・落合地区の市街地区域の調査を早期に終えるよう事業計画を検討していきます。 <p>(全体計画面積756.34km²に対して令和5年度末、完了予定面積730.94km²)</p>	<p>指標:現地調査面積</p> <p>目標値:1.75km² (全体進捗率96.64%)</p> <p>(令和4年度実績値:2.16km²、全体進捗率96.41%)</p>
<p>2-②国土調査事業の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度も2地区の現地調査を外部委託することで業務の効率化を図り、残り3地区についても外部委託の可能性を検討しつつ効率的に業務の推進を行います。 	<p>指標:延出役人員数</p> <p>目標値:117人 (前年度の90%)</p> <p>(令和4年度実績値:130人)</p>
<p>3-①道路環境整備事業の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域や市民団体との協働による道路環境整備事業を推進することで、道路の安全と地域の美観を維持するとともに、市民の道路に対する愛着心を醸成し、地域の小さなしごとを創出する。 市民団体による市道の除草活動延長を指標とする。 	<p>指標:①除草活動延長 ②登録団体数</p> <p>目標値:①400km ②200団体</p> <p>(令和4年度実績値) ①347km ②184団体</p>
<p>3-②GISを活用した道路等インフラ情報の一元管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 全庁での一元管理を関係課と協力して進め、来庁者へのサービス向上と業務の効率化を図ります。 	<p>指標:GISを活用したインフラ情報の一元化</p> <p>目標値:1式</p> <p>(令和4年度実績値:建設部のインフラ施設と農林道がGIS上でシステムの統合ができた)</p>
<p>3-③中国横断自動車道岡山米子線の全線4車線化と利用推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民が安全かつ短時間で広域的に移動でき、地域経済を支える人と物の流れを促進するために、中国横断自動車道岡山米子線全線の4車線化の早期完成を推進します。 県や沿線市町と連携し、路線やインターチェンジの利用促進に取り組むとともに、引き続きNEXCO西日本等に事業の早期完成を要請して行きます。 	<p>指標:岡山道平均日交通量</p> <p>目標値:平均 9,000台/日</p> <p>(令和4年度実績値:8,052台/日※速報値)</p> <p>有漢-北房 H29 9,217 H30 9,117 R1 9,145 R2 7,286 R3 7,335</p>

<p>3-④市道の舗装修繕</p> <p>・利用者が快適に安心して道路を利用するために、舗装長寿命化修繕計画に基づいて順次舗装修繕を実施します。</p> <p>・平成30年度に策定した舗装長寿命化計画(R1～R3)は完了したが、必要な舗装修繕を継続して実施するために計画期間を延長して老朽化が進んだ路線や地元からの修繕要望に対応する。</p> <p>計画路線</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R1_22路線:13.2km(実績_22路線: 7.2km) ・R2_21路線:12.2km(実績_21路線: 9.9km) ・R3_22路線: 6.7km(実績_22路線: 6.9km) ・R4_29路線: 6.2km(実績_29路線: 5.4km)<small>※実績延長については一部概算値を含む</small> ・R5_29路線 :4.3km ・R6_23路線: 5.6km ・R7_21路線: 5.8km ●計 167路線:54.0km (重複あり) 	<p>指標:路線数</p>																				
	<p>目標値:29路線</p>																				
	<p>(令和4年度実績値:29路線)</p>																				
<p>3-⑤橋梁等の維持管理</p> <p>・交通の安全安心と橋梁等長寿命化のために、法定点検を実施し、将来にわたって修繕コストの縮減と予算の平準化を実現するために順次調査設計を行い計画的に修繕工事を施工します。</p> <p>【橋梁】</p> <table border="1" data-bbox="172 1003 1082 1149"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>点検</td> <td>210</td> <td>218</td> <td>206</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td>調査設計</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>20</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>修繕着工橋梁</td> <td>7</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>修繕計画 N=87橋 (R5.1現在)</p> <p>R2までの未修繕着工率 $(76-7)/76=91\%$ R3までの未修繕着工率 $(76-(7+13))/76=74\%$ R4までの未修繕着工率 $(82-(7+13+12))/82=61\%$ R5目標値 $(87-(7+13+12+10))/87=52\%$以下</p>		R2	R3	R4	R5	点検	210	218	206	208	調査設計	22	20	20	2	修繕着工橋梁	7	13	12	10	<p>指標:修繕未着工率</p>
	R2	R3	R4	R5																	
点検	210	218	206	208																	
調査設計	22	20	20	2																	
修繕着工橋梁	7	13	12	10																	
	<p>目標値:52%以下</p>																				
	<p>(令和4年度実績値:61%)</p>																				
<p>4-①水道の漏水対策の強化</p> <p>予防保全の観点から漏水・断水などの水道事故や費用の発生リスクを低減し、浄・配水コストの縮減と投資の平準化を図るため、老朽管の基幹改良を計画的かつ効率的に行い、水道水の安定的な供給と経営指標となる有収率の向上を目指します。</p> <p>・勝山簡水月田地区 有収率88.3% (令和3年度有収率84.2%) 勝山簡水月田地区の老朽管改良工事 (H28～R12)</p>	<p>指標:有収率(勝山簡水月田地区)</p>																				
	<p>目標値:88.5%</p>																				
	<p>(令和4年度実績値:88.3%)</p>																				

<p>4-②水道の開栓・休止手続きの電子申請化</p> <p>・水道の開始・休止手続きについて、来庁することなく、24時間いつでも申請可能な電子申請を、MIT、広報紙、市ホームページのPR等により普及させ、働き盛り世代や市外在住者など、来庁しての手続きが困難な方の利便性を高めます。また、こまめな開始・休止を行いやすくすることで、長期不在時の予期しない漏水等のトラブル防止を図ります。</p> <p>※令和4年度 平均9件/月 令和3年度 平均7件/月 令和2年度 平均2件/月</p>	<p>指標:開栓・休止の電子申請数</p> <p>目標値:10件/月</p> <p>(令和4年度実績値:9件/月)</p>
<p>4-③上下水道料金の口座振替の推進</p> <p>・上下水道料金の収納について、口座振替への移行を推進し、水道利用者の料金納付の手間や納め忘れによる未納を減らすと共に、収納事務や収納コストの削減を目指します。</p> <p>・令和4年度:口座振替利用率 83.6% (全使用者23,870人/うち口座振替利用者19,945人) 令和3年度:口座振替利用率 83.8% (全使用者23,324人/うち口座振替利用者19,550人) 令和2年度:口座振替利用率 84.1% (全使用者23,299人/うち口座振替利用者19,586人)</p>	<p>指標:口座振替利用率</p> <p>目標値:84.0%</p> <p>(令和4年度実績値:83.6%)</p>
<p>4-④下水道による水質保全</p> <p>・旭川の源流域にある真庭市は、下流域にきれいな水を供給する必要があります。下水道による生活排水の浄化により、河川環境の水質保全に努めます。</p> <p>・接続推進</p> <p>・下水道普及のPR(広報、浄化センター見学会など) ※水洗化率…下水道の整備区域内の人口のうち、下水道を使用している人口の割合</p> <p>【令和4年度末】</p> <p>・水洗化率:66.0%(令和3年度末65.0%、令和2年度末:63.3%、令和元年度末:60.7%)</p> <p>・整備区域内人口:23,595人</p> <p>・下水道接続人口:15,569人</p>	<p>指標:水洗化率</p> <p>目標値:68.0%</p> <p>(令和4年度実績値:66.0%)</p>
<p>4-⑤下水道事業のコスト削減</p> <p>・一般会計から下水道事業会計への基準外繰入金削減のため、コスト削減に取り組みます。</p> <p>【不明水の削減】</p> <p>雨水等の不明水が流入することで、必要以上に処理費用が発生しています。雨水流入箇所の調査・修繕により不明水を抑制し、処理費用を削減します。</p> <p>※有収率…浄化センターで処理した水量のうち、収入の対象となる水量の割合(令和3年度88.5%、令和2年度80.4%、令和元年度79.1%)</p>	<p>指標:有収率</p> <p>目標値:92.0%</p> <p>(令和4年度実績値:91.5%)</p>
<p>4-⑥下水道施設の効率化</p> <p>・下水道ストックマネジメントに基づき、中長期的な視点で、浄化センターや排水処理施設の状態を予測しながら計画的・効率的に更新を進めるとともに、下水道幹線の水害対策にとりくみ、持続的な下水道機能の確保とコスト低減を図ります。</p>	<p>指標:維持管理適正化計画策定</p> <p>目標値:年度内</p> <p>(令和4年度実績値:年度内)</p>

<p>4-⑦市設置浄化槽の使用者への譲渡</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般会計からの繰入金の抑制を図るため、市設置型浄化槽から個人への譲渡契約を進め、令和6年度に市町村設置浄化槽の譲渡完了を目指します。 市町村設置浄化槽：893基（ほか浄化槽の廃止等8基） 令和4年度末、譲渡契約基数：885基（契約率99.1%） <p>目標・令和5年度末：887基(契約率99.3%)</p> <ul style="list-style-type: none"> 譲渡契約未契約：8基（R6譲渡 3基 R4以前 5基） <p>【浄化槽事業一般会計繰入金】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度44,769千円(予算) 令和4年度47,416千円(決算見込) 令和3年度53,600千円(決算) 令和2年度62,300千円(決算) 令和元年度67,800千円(決算) 	<p>指標:①譲渡契約率 ②一般会計繰入金額</p> <p>目標値:①99.3% ②対前年▲3,147千円</p> <p>(令和4年度実績値： ①99.1% ②対前年▲6,184千円)</p>
<p>5-①省エネルギー設備等の導入促進によるゼロカーボン化の推進を検討する</p> <p>施設の新設・改修時や老朽化した設備・機器等を更新する際には、LED照明や高効率エアコンなど省エネ機器の導入を積極的に検討し、順次更新を進めていくことで、省エネルギー化及び温室効果ガス排出量の削減を検討します。</p>	<p>指標:可能性の検討</p> <p>目標値:100%</p> <p>(令和4年度実績値： 100%)</p>
<p>6-① ため池の適正な管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内には多数のため池が点在し、その多くは戦前に築造されたため老朽化が進んでいます。「今後のため池の防災・減災事業の取り組み」により計画的に修繕工事を実施します。 他方で近年利用されていないため池も市内に確認されており、適切な管理がされていないため池はひとたび災害が発生すると堤が決壊し、下流域の住民を巻き込んで大惨事を起こす可能性があります。そのため、農耕用に利用されていないため池を廃止して周辺整備をすることで、将来にわたって安心して住み続けることのできる地域づくりに取り組みます。 <p>(参考) 令和5年度はため池改修事業（県営事業）を引き続き実施予定</p>	<p>指標:ため池廃止・修繕</p> <p>目標値: 廃止 1</p> <p>(令和4年度実績値) 廃止 1</p>
<p>6-② 林道の安全な通行の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 林業振興促進のため、林道の危険箇所の修繕工事を実施し、通行の安全を確保することにより、原木搬出量の増量を図ります。 基幹林道（川上1号線）の未舗装区間7,178mについては、R4年度～R9年度で全線舗装施工を目指します。 林業振興のため、林道の開設に向け調査・検討を行います。 <p>(参考) R5年度舗装新設 L=1,600m</p>	<p>指標:市内の原木流通量</p> <p>目標値: 130,000m³</p> <p>(令和4年度実績値) 140,000m³</p>